

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
子ども達に願うこと	・運動支援に興味を持つ。	・楽しんで体を動かす。	・友だちの体を動かす姿を見たり応援したりする。	・ゆっくり丁寧に動くわに歩きの楽しさを味わう。	・ポイントを意識しながら、楽しんで動く。	・できるようになっていることを喜び、自信に繋げていく。	・動けることを喜びながら、体を動かすことを楽しむ。
廊下ホールリズム室	①移動時にくまさん歩き、カンガルー跳び ②くもの巣(カンガルー跳び、わにさん) 	①② ③ゲー、パージャンプで移動 ④足型を貼る(ゲーパージャンプ) ⑤競争して遊ぶ 	①②③④⑤⑥ ⑦ペットボトルのキャップを貝に見立てる ⑧移動時にラッコさん 	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩エアマットジャンプ ⑪人間くるりんぱ ⑫鉄棒 	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫ 	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫ ⑬ゲー、パー(タンブリンリズムに合わせ) 	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫⑬ ⑭早足くまさん歩き 早足わにさんなど動きに変化をつける 
保育室	①くまさん歩き、カンガルー跳び、くもの巣、わにさん	①	① ②移動時に何に変身して動かか知らせる 	①② ③人間くるりんぱ ④マットの山(くまさん歩き) ⑤トーマス新幹線	①②③④⑤⑥ ⑦ラッコさん ⑧綱渡り	①②③④⑤⑥⑦⑧	①②③④⑤⑥⑦⑧
園庭	①くまさん歩きやカンガルー跳びをして遊ぶ	① ②鉄棒(前回り、ぶらさがり)	①②	①② 	①② ③ブルーシート(らっこさん) ④くもの巣	⑤人間くるりんぱ ⑥マットの山(くまさん歩き) ⑦トーマス新幹線 ⑧ブルーシート(わにさん)	①②③④⑤⑥⑦⑧ ⑨鉄棒 
配慮保育士の関わり	・運動支援に興味を持ってできるように、柳澤先生や運動支援の内容について話をします。 ・話を聞くときにはどうしたら良いか、子ども達に投げかけ、気付かせる。	・年中児と一緒に運動支援をしているので、年中児の姿に気付けるように声をかける。 ・日常に行うことが楽しめるように、声かけの工夫をする。	・動きのポイントを子ども達と確認する。 ・いろいろな動きをバランスよく取り入れるようにする。 ・個々にあった動きができるように声をかける。	・やり方がわからない子には個別に関わり、実際に保育士がやってみせて、丁寧に歩いていく。 ・エアマットジャンプでは保育士の手拍子に合わせてリズムカルにできるようにする。	・楽しんで体を動かせる環境の工夫をする。 ・親子で運動遊びが楽しめる内容の工夫。	・できたことは喜び合い、楽しさが共有できるようにする。 ・園庭にも環境設定をして、動いて遊べるようにする。 ・トイレまで今週は「わにさん」と変身する動物を伝え、1週間たくさん体を動かす。	・楽しく体を動かせる環境の工夫設定をし、子どもの姿に合わせて変化させていく。
子どもの変化	・新入児は運動支援に興味を持ち、継続児は楽しみにしている様子があった。 ・運動支援が楽しくてウキウキと落ち着かない。	・くもの巣にかからないように、顔をあげるようになる。 ・できない、やらないということなく、楽しんでいる。	・運動を楽しみにしているがポイントがわからず気持ちばかり先走りの子がいる。 ・わにさん歩きをたくさんやったことで腕の力がついてきた。	・廊下に鉄棒を置いたことにより、通るたびに楽しんで何回もやる姿があった。 ・人間くるりんぱを喜び、何回でもやって楽しんでいた。	・らっこさんを毎日行う事で頭を上げようと意識しようとするが男の子中々頭を上げて進めない。 ・園庭でも体を動かすことを楽しむようになってきている。	・らっこさんで頭を上げることが難しい子も「5個上げよう頑張ろう」と励ましたり、手を頭の後ろにしたりすることで少しずつ頭を上げることができるようになってきた。	・遊んでいる中でも意識している子は、運動遊びコースをして次の遊びに行く姿もある。 ・ジャンケン勝ち負けが理解できる子が増える。